

中世荘園集落の姿を色濃く残す

たしぶのしょうおさき

田染 荘 小崎地区

—景観保全機能—

しょうえん さと

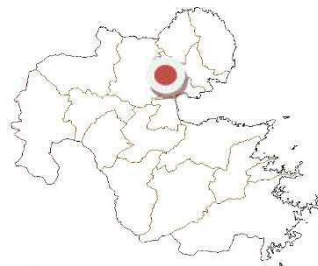
荘園の里推進委員会



小崎地区田園風景 (上)、中世の田染荘 (右)、「ほたるの館」 (下)



小崎地区は、大分県国東半島の西部に位置し、平安時代(中世)から、水田や水路、集落の「区割り」が千年の時を越えた現在もそのまま継承されており、平成 22 年に国選定重要文化的景観として選定されている。また、平成 25 年には、当地区を含む国東半島・宇佐地域が世界農業遺産に認定された。



ぶんごたかだ 大分県豊後高田市

「荘園の里推進委員会」は、地元住民で構成され地区の保全や都市と農村の交流等を目的に、平成 11 年設立した。

荘園の中心をなす水田や山林の景観をはじめ、農林産物、歴史・文化、伝統行事など地域資源を最大限に活用して都市と農村の交流による地域おこしを図っている。



荘園景観の保全活動の様子



小崎地区の女性部会と郷土料理 (上)、荘園の里ブランド「荘園米」 (左)、e-na おおいだ認証マーク (右)

【景観の保全】

小崎地区では、同委員会設立以前は過疎化・高齢化の進行に伴って、作業効率の悪い山際の水田から耕作されない水田が目立つようになってきていた。

このため、中世から先祖が残してきたこの景観を孫達にも自慢できるように何とかして残したいという思いから、委員会設立とほぼ同時期に田園空間整備事業に取り組み、農作業には最低限の機械化が行える農道等の整備に着手し、翌年には荘園オーナー制度等をスタートさせ、都市住民とともに荘園景観の保全に取り組んでいる。

【地域社会の振興、保健休養、体験学習と教育】

地元の特産品や地元の食材を使った料理(要予約)を提供する交流施設「ほたるの館」を中心に、御田植祭(田植交流会)、ホテルの夕べ(ホテル鑑賞会)、案山子コンクール、収穫祭(稲刈り交流会)などのイベント開催や、農家民泊、椎茸収穫コマ打ち体験など荘園の里ならではの四季折々の体験メニューを設定し、都市住民との交流が図られている。

また、e-na おおいだ認証制度(慣行栽培より5割以上化学肥料・化学農薬を削減)で認証を受けた「荘園米」は、荘園の里ブランドとして人気商品となっている。

主な交流イベントの紹介



御田植祭



案山子コンクール



収穫祭 (上)

献穀祭 (右上)

散策ウォーク (右下)

